

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学運営費交付金事業				事業コード	660105	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展	
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実			施策コード	432	
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課			所属長	谷口 学	
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	246 頁		
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	「知の拠点」整備構想	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	公立大学法人福知山公立大学運営費交付金交付規則						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公立大学法人福知山公立大学の基本理念である「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の実現に向け、業務遂行に係る財源として、また令和2年度から2学部200名体制となり、大学運営に必要な財源として運営費交付金を交付することにより、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図ることを目的とする。						
対象者	福知山公立大学生及び教職員	対象者数	745	単位あたりコスト	644.3		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	公立大学法人福知山公立大学の運営に必要な経常経費を運営費交付金として交付した。 【令和3年度内訳】 収支不足分 20,000千円 先行投資分 38,000千円 地方交付税措置分 420,914千円						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	478,914	公立大学法人福知山公立大学運営費交付金				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	431,378	478,914	537,763	668,811
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	431,378	478,914	537,763	668,811	
予算財源内訳	① 一般財源	431,378	478,914	537,763	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	431,378	478,914		
	③ 執行額	431,378	478,914		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14 / 0.04	0.12 / 0.04	0.12 / 0.04	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,220	1,060	1,060	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	432,598	479,974	1,060	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在学学生数	人	469 / 461	619 / 601	678 / 664	765	814
大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円	124 / 124	20 / 20	20 / 20	0	収支不足の解消	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	全就業者数に占める北近畿地域への就業者数	人	12 / 57	15 / 159	15 / 116	50	50
	単位あたりコスト		23270.7	28758.5	31927.6		
	志願者数の確保	人	763 / 850	614 / 850	1095 / 850	850	850
単位あたりコスト		366.0	702.6	437.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方独立行政法人法第42条の規定により、本市から法人に対して運営費交付金を支出することは本市のみが実施することができる代替性のない事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立時から令和3年度までの6年間は、地方交付税に加え福知山市の一般財源から運営費交付金を支出してきたが、法人において徹底した支出抑制と収入確保に努め令和4年度以降は福知山市の一般財源からの支出は行わないなど負担金を最小限に抑えている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿において、地域課題解決に向けたアンケート調査・分析、フィールドワーク等を行ったことにより、学生の課題解決力、コミュニケーション力といった社会人基礎力の向上につながったとともに、地域活性化に向けた地域住民からの期待も徐々に高まっているため有効性が高い。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に情報学部を開設し、2学部入学定員200名体制が実現した。</li> <li>教育研究活動においては、福知山公立大学の特色である「地域協働型実践教育研究」に取り組み地域課題の解決に貢献した。</li> <li>令和4年3月には113名が卒業し、そのうち15名が北近畿地域の企業や行政機関等に就職した。</li> <li>引き続き福知山公立大学の教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた財務基盤の強化に取り組む必要がある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿地域からの志願者及び入学者を増やし「地域で学び、地域で働く」という人材循環システムの構築に向け、北近畿地域の高校への周知による志願者確保と併せて、インターンシップの充実など北近畿地域への若者定着に向けた就職支援に取り組む。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山公立大学と福知山市の協力体制のもと、引き続き教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じた福知山公立大学の財務基盤の強化に取り組む。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学就学生支援事業			事業コード	660106		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実		施策コード	432		
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課		所属長	谷口 学		
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料			
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名		
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山公立大学入学支援交付金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	令和2年度に創設された国の高等教育無償化制度の対象とならない福知山市民の入学者に対して入学金を減免することにより、福知山市民に対して入学支援を行い、地元からの入学者を確保し、社会に有為な人材を育成することを目的とする。						
対象者	福知山公立大学生	対象者数	678	単位あたりコスト	0.9		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	【福知山公立大学入学支援交付金】 ・高等教育無償化制度の対象とならない福知山市民の入学者に対する入学金の減免制度(減免額:94,000円) ・福知山公立大学入学支援交付金交付要綱に基づき、入学金の減免分を福知山公立大学に交付金として支出。 ※交付額は、該当学生1人あたり94,000円(入学金282,000円の1/3)						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	0	福知山公立大学入学支援交付金				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	470	470	470	470
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	470	470	470	470	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	470	470	470	0
決算情報	① 流充用額	△ 79	0		
	② 配当予算	391	470		
	③ 執行額	376	0		
	④ 執行率	96.2%	0.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.07 / 0.02	0.07 / 0.02	0.07 / 0.02	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	610	610	610	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	986	610	610	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	制度利用し卒業に至った人数	人	1 / 1	- / -	- / -	- / -	- / -
入学者数	人	139 / 120	212 / 200	204 / 200	- / -	200	入学定員充足
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	入学支援金利用者数	人	3 / 22	4 / -	0 / 5	- / 5	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト		374.0	94.0			
	奨学金利用者数	人	5 / 29	- / -	- / -	- / -	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト		224.4	0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の機会均等を図り、社会に有為な人材の育成を図るという制度趣旨や福知山市民の入学者を増加させるという観点を踏まえると、法人設立団体である本市が実施することが望ましい。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内高校生の進学率の向上、また市内高校生に対する優遇措置を図る観点から市内在住者の入学生に対し入学金の一部減免を行う。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動実績は制度利用者(福知山市出身者)数を想定している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度は支援対象者がいなかったため、本事業に係る支出はなかった。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き本制度を広報するとともに、今後、福知山市のみならず近隣市町へも同様の減免制度の創設を呼びかけていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き福知山市と福知山公立大学が協力し、福知山市からの入学者の確保に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	「知の拠点」推進事業			事業コード	660107		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実		施策コード	432		
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課		所属長	谷口 学		
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	246 頁		
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	「知の拠点」整備構想	
	R4現在の状況	継続中					
根拠法令等	福知山公立大学「知の拠点」推進事業交付金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすため、地域連携・地域協働を推進するための取り組みを支援することで、北近畿地域の人材育成、産業振興、まちづくりに貢献する。						
対象者	福知山公立大学生	対象者数	678	単位あたりコスト	100.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学						
事業概要 (箇条書き)	・北近畿地域の地域住民、行政機関、金融機関、企業、各種団体等との連携拠点である「北近畿地域連携機構」の地域連携事業、京都北部地域連携都市圏や兵庫県朝来市、丹波市との地域連携事業を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。 ・教育研究の高度化を図る大学院の令和6年度の開設に向け、2号館耐震補強工事及び、新棟の建設に係る施設整備の設計業務を行った。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	報酬	1,425	福知山市教育連携顧問報酬				
	報償費	387	学生スタッフアルバイト代				
	旅費	83	福知山市教育連携顧問実費弁償				
	負担金補助及び交付金	54,861	「知の拠点」推進事業交付金				
需用費、役務費、使用料及び賃借料	515	消耗品費、郵送料、電信・電話料、複写機使用料					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	391,755	47,676	65,678	97,418			
	② 補正予算	0	389,670	9,900	0			
	③ 繰越予算	0	△ 368,000	368,000	0			
	前年度繰越	0	0	368,000	0			
	次年度繰越	0	△ 368,000	0	0			
小計(①～③)	391,755	69,346	443,578	97,418				
予算財源内訳	① 一般財源	35,500	1,770	1,755	0			
	② 国支出金	17,250	22,750	205,345	39,400			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	319,500	19,900	190,900	0			
	⑤ その他特財	19,505	24,926	35,678	58,018			
決算情報	① 流充用額	0	△ 83					
	② 配当予算	391,755	69,263					
	③ 執行額	380,067	57,271					
	④ 執行率	97.0%	82.7%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.24 / 0.28	1.21 / 0.48	1.21 / 0.48	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	10,620	10,880	10,880	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	390,687	68,151	10,880	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	「知の拠点」推進事業(地方創生推進交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	12,358	22	頁
		「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと創生)		基金繰入金		18,335	38	
		「知の拠点」推進事業基金繰入(ふるさと納税)		基金繰入金		2,176	40	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	福知山公立大学の社会人向け講座受講者数	人	1253 / 400	607 / 500	1191 / 600	/ 700	1500
	新学部設置		設置認可 / 設置認可	開設 / 設置認可	開設 / 設置認可	/ -	設置認可
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地域と大学の連携取組数(包括協定締結数)	件	15 / 10	15 / 10	15 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		43933.2	25337.8	3818.1		
	新学部入学者数	人	- / -	108 / 100	102 / 100	/ 100	入学定員数充足
単位あたりコスト		-	3519.1	561.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北近畿地域連携機構は北近畿地域の地域連携拠点施設であり、福知山公立大学が北近畿地域の地域創生、地域活性化の役割を果たすために欠かすことができない優先度の高い事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財源(地方創生推進交付金)を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な公開講座において各種団体から講師を招き、幅広い分野の学びの場を提供した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期中期目標に掲げた令和6年度の大学院開設に向けて、2号館の耐震補強工事及び新棟建設等に係る設計業務を実施した。</li> <li>活動実績の指標としている「地域と大学の連携取組数(包括協定締結)」については、今後は協定締結数だけでなく、民間企業等との連携を推進する必要がある。</li> <li>地域連携拠点である北近畿地域連携機構の情報を大学ホームページやSNS等を活用して積極的に発信し、地域住民や北近畿地域の企業、行政、各種団体等に利用を促進するとともに、京都府北部や兵庫県北部を対象とした地域連携事業を積極的に展開することで北近畿地域だけでなく全国に福知山公立大学の存在感を高める必要がある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の発展を牽引する産業イノベーションや新たな産業の創出に向け、北近畿地域の自治体、高等教育機関、企業及び各種団体等で産学官連携に取り組む。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大学振興一般管理事業			事業コード	660108		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実		施策コード	432		
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課		所属長	谷口 学		
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	246 頁		
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等	地方独立行政法人法、公立大学法人福知山公立大学評価委員会条例						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公立大学法人福知山公立大学の設置者として、地方独立行政法人法第25条第1項に規定する中期目標に基づき、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るために大学が実施する施策の適切な執行や管理、監督等を行う。						
対象者	福知山公立大学生及び北近畿市町住民	対象者数	533,402	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等							
事業概要 (箇条書き)	・公立大学法人福知山公立大学評価委員会の運営 ・志願者確保に向けた学生募集活動 ・国、府、他市町との協議調整 ・産学官連携体制の構築に向けた近隣市町・企業等との連携事務 ・公立大学法人福知山公立大学の広報支援事務						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	報酬	3,440	福知山公立大学評価委員会委員報酬、福知山市高等教育施策に関する特別顧問報酬				
	旅費	238	福知山公立大学評価委員会委員・福知山市高等教育施策に関する特別顧問実費弁償、大学政策課職員旅費				
	需用費	340	消耗品費、燃料費、印刷製本費				
	役員費	80	郵送料、電信・電話料				
使用料及び賃借料	19	駐車料・高速道路等通行料、複写機使用料					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,408	4,371	4,361	3,476				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	4,408	4,371	4,361	3,476				
予算財源内訳	① 一般財源	3,239	3,233	3,223	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,169	1,138	1,138	0				
決算情報	① 流充用額	861	0						
	② 配当予算	5,269	4,371						
	③ 執行額	5,241	4,117						
	④ 執行率	99.5%	94.2%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.11 / 0.47	1.18 / 0.24	1.18 / 0.24	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	10,055	10,040	10,040	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,296	14,157	10,040	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土地貸付収入(大学政策課)	種類	財産貸付収入	実績金額	1,138	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	北近畿地域の入学者数	人	13 / 20	24 / 20	22 / 20	/ 20	20
北近畿地域の志願者数	人	32 / 40	44 / 40	38 / 40	/ 40	40	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	評価委員会開催回数	件	3 / 4	3 / 4	5 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		2026.8	1747.0	823.4		
	高校訪問(PR)回数	件	20 / 70	20 / 70	20 / 70	/ 70	大学法人による実施
単位あたりコスト		304.0	262.1	205.9			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会は地方独立行政法人法第11条の規定による法定事務であり、また本事業は法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るために必要な事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会委員への報酬及び費用弁償は、本市条例に基づく適正な金額である。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願者数は他の国公立大学と比して平均的な数値目標を設定している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>1,095人の志願者があり、適切な大学運営ができている。</li> <li>公立大学法人福知山公立大学の5回目となる業務実績評価を実施し、公立大学法人福知山公立大学評価委員会から「中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している」との評価を受けた。</li> <li>令和4年度から6年間の福知山公立大学が達成すべき業務運営に関する目標である「第2期中期目標」を策定した。</li> <li>第2期中期目標に定めた令和6年度の大学院開設に向け大学と一緒に取り組む。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価結果を踏まえ、法人と連携を取りながら評価結果を分析し、次年度以降の業務に的確に反映していくよう指導・助言する。</li> <li>福知山公立大学生の北近畿地域への定着に向けて、インターンシップ等のキャリア支援活動を推進する。</li> <li>近隣の高等学校等へのPRを強化することで、北近畿地域からの入学者数の増加を図る。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	特になし。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	高等教育無償化制度交付金事業			事業コード	660112		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展		
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実		施策コード	432		
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課		所属長	谷口 学		
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	246 頁		
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等	大学等における修学の支援に関する法律、福知山市高等教育無償化制度交付金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	令和2年度より高等教育無償化制度が導入され、住民税非課税世帯及び、それに準ずる世帯の学生に対し、授業料等減免と給付型奨学金制度が創設されたことから、交付税措置を原資とし、対象者への授業料・入学金の減免相当額を福知山公立大学に交付金として支出することで経済的な理由により修学が困難な学生の学びを継続する。						
対象者	福知山公立大学生	対象者数	678	単位あたりコスト	59.5		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学						
事業概要 (箇条書き)	国の高等教育無償化制度導入に伴う授業料・入学金の減免分を交付税措置を原資とし、大学へ交付金として支出する。 【学費分】 ①全額対象 535,800円/人 ②2/3対象 357,200円/人 ③1/3対象 178,600円/人 【入学金】 ①全額対象 282,000円/人 ②2/3対象 188,000円/人 ③1/3対象 94,000円/人						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	負担金補助及び交付金	39,692	福知山市高等教育無償化制度交付金				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	25,098	41,812	44,227	62,849
	② 補正予算	14,965	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	40,063	41,812	44,227	62,849	
予算財源内訳	① 一般財源	40,063	41,812	44,227	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 714		
	② 配当予算	40,063	41,098		
	③ 執行額	33,394	39,692		
	④ 執行率	83.4%	96.6%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.08 / 0.05	0.08 / 0.01	0.08 / 0.01	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	765	665	665	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	34,159	40,357	665	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	経済的理由による退学者数	人	/	0	/ 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	授業料減免対象者数	人	/	69 / 60	86 / 60	/ 60	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト			484.0	461.5		
	入学金減免対象者数	人	/	23 / 20	31 / 20	/ 20	制度条件に合致する学生全員
単位あたりコスト			1451.9	1280.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学等における修学の支援に関する法律第10条第3項の規定により、公立大学法人の設立団体である本市が授業料減免の費用を支弁しなければならない事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本市が支弁する授業料等の減免費用は、地方交付税措置がなされる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育機会の均等を図り、経済的な理由により修学が困難な学生の学びの継続を支援することができる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に高等教育無償化制度が導入され、交付税措置を原資として対象者への授業料・入学金の減免相当額を大学に交付金として支出することで経済的な理由により修学が困難な学生の学びを継続することができた。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等教育無償化制度の支援を受けるためには、毎年大学が機関要件を受ける必要があることから、本市も大学と連携し機関要件を受けるための支援を行う。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国の高等教育無償化制度導入に伴う授業料・入学金の減免分を地方交付税措置を原資とし、引き続き大学へ交付金として支出する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山公立大学 学生修学支援臨時交付金事業				事業コード	660113					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展					
	施策名	2 福知山公立大学の教育研究の充実			施策コード	432					
事業担当	所属	03030000 市長公室 大学政策課			所属長	谷口 学					
会計情報	款	10 教育費	項	07 大学費	目	01 大学振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	246	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山公立大学修学支援交付金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、学生の学びの継続を支援するために地方創生臨時交付金を活用し、福知山公立大学が行う独自の授業料減免制度に対して支援を行うことで学生の就学機会を確保する。										
対象者	福知山公立大学生			対象者数	678		単位あたりコスト	23.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学										
事業概要 (箇条書き)	下記対象者に年間授業料の1/3(178,600円)を減免 ①高等教育無償化制度の対象者 ②福知山公立大学独自の所得基準(高等教育無償化制度の約1.3倍)の範囲内の者										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	14,913		福知山公立大学独自減免制度に対する支援(福知山公立大学修学支援事業交付金)							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	14,288	16,432	19,646					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①～③)	0	14,288	16,432	19,646						
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0					
	② 国支出金	0	14,288	16,432	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	19,646					
決算情報	① 流充用額	0	714							
	② 配当予算	0	15,002							
	③ 執行額	0	14,913							
	④ 執行率	0.0%	99.4%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.07	0.08 / 0.01	0.08 / 0.01	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	665	665	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	15,578	665	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山公立大学 学生修学支援臨時交付金事業(地方創生臨時交付金)		種類	教育費国庫補助金	実績金額	14,913	決算付属資料	22	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	志願者の確保	人	/	/	/	1095 / 600	/ 850
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	修学支援金利用者数	人	/	/	89 / 80	/ 80	0
	単位あたりコスト		/	/	167.6	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点到寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大による困窮学生を救済するための大学独自の授業料減免制度の創設による大学の減収分を設立団体である本市が支援を行う。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の財源(地方創生臨時交付金)を活用し、一般財源負担を抑えている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的な理由により修学が困難な学生の学びの継続を支援することができる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響等により経済的な理由により修学が困難な学生に対し、授業料を減免することにより学生の就学機会を確保することができた。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の状況や国の動向を注視し、引き続き学生の修学環境整備について検討する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響等による経済的理由による学びを止めないよう引き続き支援する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--